

1.	④	6.	①	11.	③
2.	③	7.	②	12.	①
3.	①	8.	④	13.	②
4.	②	9.	①	14.	①
5.	②	10.	④	15.	④

1.

解答 ④

【解説】

[和訳] A: なぜそんなにたくさんの食べ物を買っているのですか? B: 今夜、父の 60 歳の誕生日を祝う予定だからです。[解説] 誕生日のために食事の準備をしている文脈から、④celebrate (～を祝う) が適切です。誤答の①calculate は (計算する)、②communicate は (意思疎通する)、③concentrate は (集中する) なので不適です。

◆補足: 【コロケーション】 celebrate a victory: 勝利を祝う, celebrate an anniversary: 記念日を祝う / 【類義語・使い分け】 congratulate: (人に) おめでとうと言う (人は目的語になる), observe: (祝日などを) 祝う・順守する / 【多義語】 なし

2.

解答 ③

【解説】

[和訳] 私が困っていた時にあなたがしてくれたすべての助けと支援に対して、深く感謝しています。[解説] 助けに対する感謝の気持ちを表すため、③grateful (感謝している) が適切です。be grateful to A for B (B のことで A に感謝する) の形です。誤答の①graceful は (優雅な)、②painful は (痛い)、④hopeful は (希望に満ちた) なので不適です。

◆補足: 【コロケーション】 be grateful for: ～に感謝する, extremely grateful: 非常に感謝している / 【類義語・使い分け】 thankful: 感謝している (grateful より口語的、神や運への感謝にも使う), appreciative: 真価を認めて感謝している / 【多義語】 なし

3.

解答 ①

【解説】

[和訳] 弁護士は、依頼人が無実であることを証明するための証拠を見つけようとしてしました。[解説] 証拠 (evidence) を使って事実を明らかにするという文脈から、①prove (～を証明する) が適切です。誤答の②probe は (厳密に調査する)、③pride は (誇り)、④prize は (賞) なので不適です。

◆補足:【コロケーション】prove to be true: 真実だとわかる / 【類義語・使い分け】demonstrate: 実証する (実例や実験で示す) / 【多義語】(～だと) 判明する

4.

解答 ②

【解説】

[和訳] 警察はドアに指紋を見つけ、それはその事件の重要な証拠となりました。[解説] 犯罪捜査において指紋が果たす役割は②evidence (証拠) です。誤答の①element は (要素)、③engine は (エンジン)、④entrance は (入り口) なので不適です。

◆補足:【コロケーション】scientific evidence: 科学的根拠 / 【類義語・使い分け】proof: 証明・証拠 (証拠が確定的なもの), testimony: 証言 / 【多義語】形跡

5.

解答 ②

【解説】

[和訳] 私は昨日、スーパーマーケットで偶然、小学校時代の旧友に会いました。それは嬉しい驚きでした。[解説] 計画せずに偶然会ったという文脈から、②by chance (偶然に) が適切です。誤答の①by mistake は (間違って)、③by nature は (生まれつき)、④by far は (はるかに) なので不適です。

◆補足:【コロケーション】meet by chance: 偶然会う, happen by chance: 偶然起こる / 【類義語・使い分け】accidentally: 誤って・偶然に, unexpectedly: 思いがけず / 【多義語】なし

6.

解答 ①

【解説】

[和訳] 天気について文句を言っても無駄です。私たちはただ室内で一日を楽しもうとすべきです。[解説] 文句を言っても状況は変わらない (無駄だ) という文脈から、It is no use doing (～しても無駄だ) の構文を作る①It's no use が適切です。誤答の②It's no doubt (疑いはない)、③It's no wonder (不思議ではない)、④It's no sense という言い方はせず、It makes no sense to do (～するのは意味がない) や There is no sense in doing と言います。

◆補足：【コロケーション】 It is no use crying over spilt milk: 覆水盆に返らず / 【類義語・使い分け】 There is no point in doing: ～しても意味がない, It is useless to do: ～するのは無駄だ / 【多義語】 なし

7.

解答 ②

【解説】

[和訳] A: 彼はすぐに日本に戻ってくるの? B: いいえ、彼はロンドンへ永久に引っ越したのよ。[解説] 「戻ってくるの?」という問いに対して「No」と答え、移住したことを伝えているため、永続性を表す②for good（永久に・これを最後に）が適切です。誤答の①for free は（無料で）、③for sure は（確かに）、④for short は（略して）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 gone for good: 二度と戻らない / 【類義語・使い分け】 forever: 永遠に（詩的・感情的な響きも含む）, permanently: 永続的に（硬い表現） / 【多義語】 なし

8.

解答 ④

【解説】

[和訳] 彼女は今夜夕食に遅れると書いてあるメモを冷蔵庫に残しました。[解説] 伝言などを書いた短い手紙やメモを指すため、④note（メモ/書き置き）が適切です。誤答の①vote は（投票）、②code は（暗号/規範）、③mode は（様式/モード）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 leave a note: 書き置きを残す, take notes: メモを取る / 【類義語・使い分け】 memo: メモ（社内通達や備忘録）, message: 伝言 / 【多義語】 note: 紙幣、音符

9.

解答 ①

【解説】

[和訳] プラスチック使用に関する新しい厳しい法律は、昨日の朝、政府によって公式に発表されました。[解説] 政府が法律を発表するという文脈から、①officially（公式に）が適切です。誤答の②privately は（非公式に/個人的に）、③vaguely は（曖昧に）、④barely は（かろうじて）なので文脈に合いません。

◆補足：【コロケーション】 officially announce: 公式に発表する, officially recognized: 公式に認定された / 【類義語・使い分け】 formally: 形式に則って（堅い語）, publicly: 公に（隠さず） / 【多義語】 なし

10.

解答 ④

【解説】

[和訳] 私は収入と支出を監視するために、毎月銀行の取引明細書を確認しています。[解説] 銀行の取引記録が記載された書類を指す「bank statement」という定型表現から、④statement（明細書・声明）が適切です。誤答の①standard は（基準）、②station は（駅）、③structure は（構造）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 make a statement: 声明を発表する / 【類義語・使い分け】 announcement: 発表・告知 / 【多義語】 陳述

11.

解答 ③

【解説】

[和訳] 新しい雇用の機会があるため、この都市の人口は非常に高い割合で増加しています。[解説] 人口が増加するペースや比率を表す文脈であるため、③rate（割合・速度）が適切です。誤答の①rope は（ロープ）、②role は（役割）、④rule は（規則）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 at a rate of ~: ~の割合（速度）で, birth rate: 出生率 / 【類義語・使い分け】 ratio: 比率（2つの数の比）, pace: （歩く・進む）速度 / 【多義語】 動詞：評価する

12.

解答 ①

【解説】

[和訳] 彼女は新作映画での優れた演技に対して、権威ある賞を受け取りました。[解説] 優れた演技に対して授与されるものなので、①award（賞）が適切です。誤答の②alarm は（警報）、③arrow は（矢）、④amount は（量）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 win an award: 賞をとる, Academy Award: アカデミー賞 / 【類義語・使い分け】 prize: 賞・賞品（award とほぼ同義だが、競技の入賞などにも使う）, reward: 報酬・報美 / 【多義語】 award: （動詞）授与する・（損害賠償などを）裁定する

13.

解答 ②

【解説】

[和訳] 牛乳とパンをすべて使い果たしてしまったので、スーパーに行かなければなりません。[解説]

「使い切る」「消費し尽くす」という意味の句動詞②**used up** が適切です。誤答の①**made up** は（作り上げた/仲直りした）、③**given up** は（あきらめた）、④**brought up** は（育てた）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 **use up energy**: エネルギーを使い果たす, **use up resources**: 資源を使い切る / 【類義語・使い分け】 **exhaust**: 使い果たす・疲れさせる（堅い語）, **run out of**: （在庫などが）切れる・なくなる / 【多義語】 なし

14.

解答 ①

【解説】

[和訳] 天気予報では大雪になると言っているので、状況に応じて服装を整え、暖かい服を着てください。[解説] 「雪が降る」という状況に合わせて行動するよう促しているため、①**accordingly**（それ相応に／したがって）が適切です。誤答の②**actively** は（活発に）、③**accurately** は（正確に）、④**accidentally** は（偶然に）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 **act accordingly**: 状況に応じて行動する, **dress accordingly**: TPO に合った服を着る / 【類義語・使い分け】 **suitably**: ふさわしく, **therefore**: （接続副詞として）それゆえに / 【多義語】 なし

15.

解答 ④

【解説】

[和訳] 全員分の椅子が足りなかったなので、いくつかの箱で間に合わせなければなりませんでした。

[解説] 本来のものではない代用品（箱）でなんとか済ませるという文脈から、④**make do with**（～で間に合わせる）が適切です。誤答の①**get along with** は（～と仲良くやる）、②**look forward to** は（～を楽しみにする）、③**keep up with** は（～についていく）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 **make do with what we have**: 手持ちのもので間に合わせる / 【類義語・使い分け】 **manage with**: ～でどうにかする / 【多義語】 なし
